

NTTグループにおける通信基盤設備の無電柱化および安全の取組み

平成29年2月6日
東日本電信電話株式会社

1. 無電柱化に向けたポイントとNTTグループの基本スタンス

【NTTグループのこれまでの取組み】

- 低コスト手法について東京都と共同で検証
- 無電柱化低コスト手法技術検討委員会の試験に協力
- 当社既存設備の有効活用

参考：H29年度東京都の取組み

- 無電柱化の推進 251億円 (H28年度：249億円)
- 区市町村への無電柱化補助の拡充：8億4,400万円 (H28年度：4億5,800万円)

出典：東京都財務局「平成29年度予算」

狭い区市町村道に拡大

【無電柱化に向けたポイント】

- 電線共同溝のコンパクト化、低コスト化
- 地元との合意形成

NTTグループの無電柱化に関する基本スタンス

- NTTグループは企業経営の範囲のなかで、無電柱化の社会要請に応じてきました。
- 引き続き、国、自治体、関係事業者と連携し、低コスト化に取り組んでいきます。

2. 無電柱化における低コスト化、コンパクト化の取組み

電線共同溝のコンパクト化や共同施工の推進による低コスト化に取り組んでいます。

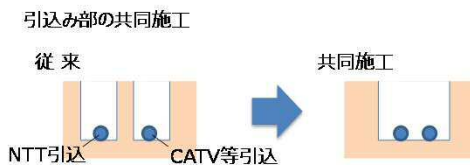
① 電線共同溝のコンパクト化

電線共同溝の掘削断面を減少し、コスト削減や工期の短縮、適用箇所の拡大に貢献



② 共同施工の推進

他事業者（通信放送系）と協定を締結し、共同施工とすることで、工期の短縮や繰返し工事を抑制



③ 直接埋設可能なケーブルの開発

ダクトケーブルを開発し、ケーブルを直接地中へ埋設する場合や、小型ボックス等で電力線と離隔が取れない場合に適用



3. 通信基盤設備の安全の取組み

- 通信基盤設備は、定期点検により、不良設備の早期発見・改修を実施しています。
- 最新技術を活用して、効率的な設備管理、空洞有無の調査を実施しています。

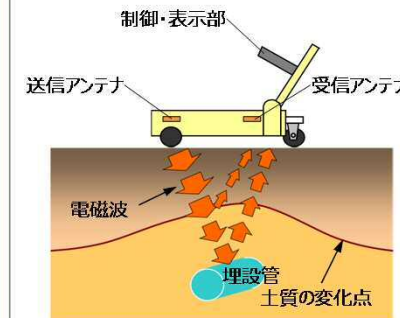
埋設物探査機器の活用

- 埋設物探査機器を用い、埋設管や空洞の調査を実施
- 機器のコンパクト化を図り、引込み等、狭い箇所の探査可能

埋設物探査機器
(エスパーEX)



埋設物探査機器による探索イメージ



計測結果

